

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」仮申請関係様式（様式3）

都道府県名	02_青森県
市区町村名	023019_平内町
自治体区分	

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
023019_平内町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	放課後子ども教室での活動内容のマンネリ化や、地域住民の参加する教室が固定化している。	ALTがボランティアとして参加している。	・放課後子ども教室において地域住民等の様々な技能を活かした活動を定期的に実施する。	・多様な地域住民との触れ合い及び多様な体験ができる。	・3つの放課後子ども教室の合計ボランティア人数	38	人	40	45	3 これまでも実施していたALTとの英語を活用したレクリエーションに加えて、モルック体験教室や化学実験教室、郷土教育として当町の島であるハクチョウに関わる出前講座等を行った。課題としては各子ども教室及び講師のスケジュールの都合により、教室によっては実施ができなかった講座があったため、なるべく多くの学びの機会を提供できるよう、早い段階でボランティアの派遣日を調整する必要がある。
023019_平内町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	依頼を受けたボランティア団体内で活動内容に関する情報共有がなされておらず、不満を感じているボランティアがいた。	活動する団体への連絡は代表者へ行っていた。	・ボランティア団体内部での情報共有がしやすくなるように地域学校協働活動推進員と協力してわかりやすい連絡書を作成するなど、丁寧な対応をしていく。	・ボランティアが目的・内容を理解して活動できるようになる。	・活動御アンケートの満足・普通を合わせた割合	98	%	98	100	3 ボランティア活動の連絡書を作成する際には、分かりやすい内容となっているか地域学校協働活動推進員と記載内容を確認するようにした。今回は100%を達成できたが、この数値を今後も維持できるよう、誰が見ても明確で分かりやすい内容を記載する。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。